



出初式
地域を守る
たのもしさ

新ちゃん

おお寒い!! (若もの広場)

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第104号 平成18年 1月31日

各施設へのケーブルテレビ

補正予算 2p

登下校時の子どもの安全

一般質問 4p

住民の命を守れ

委員会レポート 8p



【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai@town.hidaka.wakayama.jp

12月定例会

平成17年第4回定例会は、12月16日から22日までの7日間の会期で開催した。今回の定例会では、議案15件が提案され、慎重審議の上、原案のとおり可決した。

一般会計

既定額41億5417万6千円に5857万1千円を追加し、総額42億1274万7千円とする。

主な補正内容は、

農村総合整備事業費（荊木・萩原地区）	3158万7千円
ケーブルテレビ引き込みに係る修繕費	1164万2千円
比井小学校児童の通学バス購入費	700万円
公民館の改修工事設計委託費	242万6千円

質疑

問 ケーブルテレビ引き込みに係る修繕費が、各施設毎に計上されているが、その積算は。

企画財政課長 町内の関係業者に各施設を調査して見積もりの結果、IP電話も含め総額1164万2千円を計上した。

問 今、各施設を整備する目的は。
企画財政課長 通信網を整備することによって、今後あらゆるインターネット

ト関係分野での活用が図られると考える。

問 今回、比井小学校児童の送迎バスを購入しての委託費と、今までの委託費での経費の削減は。

教育次長 10年間で約3千万円程度削減できる。
今まで改正しなかった事を深く反省している。

賛成討論

今回、一般会計補正予算においてケーブルテレビに係る各施設での修繕費が数カ所に計上されている。
実施に当たり十分な精査をすることであるが、行財政改革に逆行しないよう取り組まれることを求めて賛成とする。

楠 議員



開局間近な日高川ネットワークセンター

条例改正等

日高町使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例(温泉館食堂部の使用料の改正)

1㎡当たり4200円から7650円に値上げすることにより、年間55万1300円から100万4100円となる。

問 今後、3年毎に入札してはどうか。
町長 今までの食堂部の健全な管理運営状況の中で、現時点では現状のままで行きたいと考えている。

日高地方市町村職員研修協議会の廃止

日高地方の市町村合併が進み、参加職員数の確保が困難な状況となってきたため、これを廃止して今後は、和歌山県市町村職員研修協議会が実施する研修に参加する。

和歌山地方税回収機構の設立

和歌山県内全市町村を構成団体として、地方税及び国民健康保険料の滞納処分に関する事務等を共同処理するため設立する。

問 今までの滞納整理と、この機構がおこなう事務の違いは。

税務課長 今までどおり訪問徴収は当税務課がやっていく。滞納処分、公売、貯金の差し押さえ、給料の差し押さえ等については、滞納整理機構でおこなう。

反対討論

徴収率が比較的に良い当町にとって、負担金に見合うだけのメリットがあるかどうか、また機構を維持するためには、毎年10件が当町から必要といわれる中で、数字合わせのために悪質でない者まで移管されるのではと懸念される。

西岡 議員

特別会計

下水道事業

既定額7億3725万6千円に1696万6千円を追加し総額7億5422万2千円とする。

主な内容は、消費税及び地方消費税還付金や、交付金等の決定により下水道基金積立金として1413万8千円の追加補正など。

介護保険

既定額4億6412万1千円に1597万1千円を追加し総額4億8009万2千円とする。

主な内容は、居宅支援サービス利用者の増により950万円の追加補正等。

第4回臨時会

平成17年第4回臨時会は11月28日に開催した。

この臨時会には、報告2件、議案4件が提案され慎重審議の上、原案のとおり可決した。

17年度

一般会計補正予算

既定額41億5074万4千円に343万2千円を追加し総額41億5417万6千円とする。

主な内容は、人事院勧告に基づく人件費33万3千円の減額と比井小学校のアスベスト対策工事費498万4千円の追加補正等。

問 勤勉手当は全職員同率か。

町長 現在は同率だが、今後はこの評価について、十分検討する。

意見書

福祉医療制度の存続・拡充を

地方自治体による住民福祉向上のための施策の充実が求められており、和歌山県単独福祉医療制度(老人、乳幼児、重度心身障害児・者、ひとり親家庭)は、住民の命と健康を守り、子育てを支援する制度として、かけがえのないものとなっている。よって、県の厳しい財政状況にあっても、これらの医療制度を存続、拡充されることを求める。



アスベスト対策工事(比井小学校)

未来をきずく

Q & A いっばん質問

行財政改革の目標は

金崎 昭仁 議員

町長 単独自立を目指して



身について、明るい部分が見られないが。

町長 行財政改革となれば町民に喜んでいただけないことが多くあるが、削減した金額を有効に使うことを考えている。

問 今、取り組もうとしている行財政改革について聞く。

町長 将来にわたり住民の皆様の負担にならないように行財政基盤を固めるために取り組んでいる。

問 効率的かつ効果的にすれば、職員数についても検討できるのではないかと。

町長 少人数の中で、適材適所に職員を配置して住民福祉のために取り組んでいる。

問 行財政改革大綱の中

の件についての意見は。

町長 県のヒアリングも受けて認めてもらっていると考えていたが残念だ。

問 単独自立を目指して行財政改革をしていく中で町民の方々に理解・関心・協働していただくために実生活に照らし合わせた数字を使って知らせるべきではないのか。

その上で、意識調査またはアンケート調査を早い段階で実施してはどうか。

町長 アンケート調査もひとつの方法だとは思いますが十分検討する。

問 県で開催されている合併審議会の中身が地方紙にて報道されたが、そ

を

併も必要であると思うが、現時点では単独で行く。

町長 県に対しては、行財政改革を行っていくことで、単独でも当然いけるといふことを説明している。

問 投資的経費の約8割減は、非現実的で赤字額を抑えるための数字あわせではないかと言われている事について。

町長 わが町の主張や計画は全く受け入れられないので残念だ。

問 県に対して反論は、慎重に対応する。

町長 すでに各市町村の助役を対象にヒアリングが終了し、次に町長を対象におこなわれると聞くが、

問 何をきっかけに合併を考えるのか。

ない。

問 自信をもって出した数字をもっとあそんでいると言われているが。

企画財政課長 当方としてはそれなりの主張は持っているが、私どもの意向が伝わっていないかと思っている。

その他質問
地域と学校の連携について



県の合併審議会（日高新報社提供）



玉置 正之 議員

休耕田の放置対策は

町長 農業委員会と共に指導する



雑草がはみだして通りにくい道

問 近年、農業従事者の高齢化、後継者不足等により、ますます耕作放棄地が増えるであろう。また、宅地化されていても何らかの理由で放棄

されているところが多々ある。田植えの時期には隣接の地主さんが、幅2m、3m程度の雑草を刈り込まなければいけないと嘆

てきた。今後も同様に農業委員会と連携し、指導をおこなっていききたい。**問** 町道に雑草が生い茂

いている。また、ゴミ捨て場になつているのが現状である。近年環境問題が重要視されている中、これを見逃していいものか。その対策と指導は。**町長** 耕作者や通行人に迷惑をかけている所が存在しているが、地域からの要請及び農業委員からの報告の都度、土地所有者に対し指導をおこなつ

り道路の4分の1が塞がっている。事故が発生した時の責任はどこにあるのか。**町長** 町道の場合は町にある。早急に現場をみて対処したい。

町長の進退を問う

問 町長の任期も余すところ10カ月になり、中町長としても厳しい時期であるが、二期目を目指し続投して行財政改革に取り組んでいただきたいと思いが、その胸の内は。**町長** 日高町行財政改革大綱に基づき、行財政改革を加速し、日高町の将来を明るい未来に繋げていくよう全力を傾注する。今はまず、行財政改革の断行が最重要課題であると考え、今しばらく差し控えていただきた

職員の実力主義への対応は

問 職員の能力、実績を重視した人事評価システムとは。**町長** 自己評価と第1次・第2次評定者及び審査者を設け厳正なる評価をおこないたい。**問** 第1次・第2次評定者、また審査者とはどのような人か。**総務課長** 係長から上の者で第1次評価・第2次評価の審査をおこなう。

問 実績評価による昇級を、他の市町村に先駆けてやっていくことが必要ではないか。**町長** 18年度から評定して、十分職員の能力開発に努めたい。

子ども達をどう守る

西岡 佳奈子 議員

町長 地域一体となつて



子どもたちの安全を（志賀小学校）

問 全国各地で幼い子どもが犠牲になる事件が続いている。子ども達を守るため、町長、教育委員会双方どのように考え、どのように取り組まれるか。
町長 防犯灯の増設や地域が一体となつて「子ども達を守る」という意識の醸成、警察等によるパトロール強化の要請等



問 全国各
地
で
幼
い
子
ど
も
が
犠
牲
に
な
る
事
件
が
続
い
て
い
る。
子
ど
も
達
を
守
る
た
め
、
町
長
、
教
育
委
員
会
双
方
ど
の
よ
う
に
考
え
、
ど
の
よ
う
に
取
り
組
ま
れ
る
か。
町長 防犯灯の増設や地域が一体となつて「子ども達を守る」という意識の醸成、警察等によるパトロール強化の要請等
問 全国各
地
で
幼
い
子
ど
も
が
犠
牲
に
な
る
事
件
が
続
い
て
い
る。
子
ど
も
達
を
守
る
た
め
、
町
長
、
教
育
委
員
会
双
方
ど
の
よ
う
に
考
え
、
ど
の
よ
う
に
取
り
組
ま
れ
る
か。
町長 防犯灯の増設や地域が一体となつて「子ども達を守る」という意識の醸成、警察等によるパトロール強化の要請等

たとえば、学校内に地域の元気なお年寄りが集えるような場所があれば、交流ができたり、一緒に下校するというようなこともできるのではないかと。そういう形で、子ども達を守っていくということも考えてはどうか。
教育長 集える場所については、空き教室がないというのが現状である。
問 学校と地域の連携が大事。教育委員会・学校から地域住民に対して、具体的に要望をだしたらいいと思うが。
教育長 町内各区長さんに、「地域全体で子どもを守ろう」ということでお願いに行く。

肺炎予防の取り組み

問 高齢者の重症肺炎の原因の半分は肺炎球菌だといわれる。
近年、肺炎球菌ワクチンの有効性がマスコミで取り上げられてきている。広報と助成の検討を。
町長 肺炎球菌ワクチン
問 予防接種法改正で、麻疹（はしか）と風疹の予防接種が混合ワクチン（MRワクチン）に変わる。
それにとまって町が費用負担をする期間も短くなる。
はしか・風疹の予防接種が変わる
対象者一人ひとりの状況を把握して、接種漏れのないよう取り組みなければいけないと思うが。
町長 「お知らせ12月号」でも広報しており、今後も、個人通知、健診時の説明などで勧奨していく。



清水 正巳 議員

登下校時の安全対策は十分か

教育長 安全のため対策に取り組む

問 広島県や栃木県で、痛ましい事件が発生しているが、私たちの町は子ども達の安全確保のためできる限りの対策をしているか。

教育長 子ども達の安全のため、学校に指導、助言し安全対策に取り組んでいる。

現在のスクールバスの運行は、学校統合、遠距離通学に対して実施している。

下校時の一斉放送はすでに実施している。

防犯ブザーは高学年用を追加補正に計上する。

問 比井小学校区では、歩道も無く、狭い危険な

さみしい峠を、毎日越えてくる児童が18名程度いる。

通園バスとスクールバスをうまく利用すれば乗車は可能ではないか。

安全を守るための運行を考えていただきたい。

教育長 PTAその他会合の中で提案し、実情を



狭い危険なさみしい峠（産湯地内）

話していきたい。

問 私たちも区民に対し安全対策の為にボランティアを要請するが、町でも後ろ盾をお願いしたい。

教育長 地域の子どもは自分たちで守る、という意識の高揚に協力したい。

地方公務員の評価システム

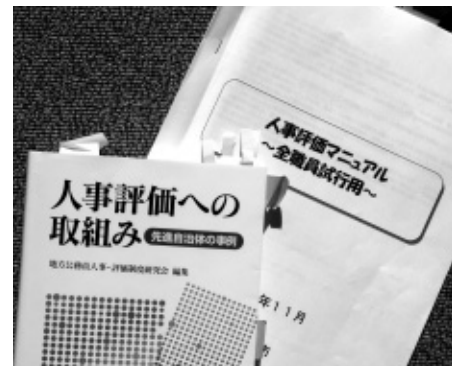
問 17年3月議会において、職員の勤務評定について質問したところ、まだ実施に至っていないが指導はきているとのことであった。

実施準備はできているとすればどの程度給与処遇に反映するのか。

町長 18年度当初から、第一次試行の段階で全職員を対象と考えている。

内容は自己評価を提出させそれに基づき「能力評価」「実績評価」を実施していきたい。

問 その内容では公正な勤務評定はできないと考



望まれる厳しい評価

自己申告による目標管理が一般企業の実情である。その方が効果が上がると思うが。

総務課長 国の方からも目標管理の資料がきているが、部門により目標設定が困難なところもある。6月のボーナスの際には「勤勉手当に評価を取り入れよ」となっている。

問 導入については評定者も含め、公平な評価をするため、事前研修が必要と考える。

評価のためのシートはできているか。

総務課長 できている。



阿尾地区の避難路

委員会 レポート

住民の命を守れ 総務文厚委員会

10月31日、防災の取り組み状況について担当課より話を聞いた。防災研修は、日高広域消防から講師を招くなど、各区や婦人防火クラブ等

で実施している。

また、今年7月23日の県下一斉津波避難訓練では海岸部の住民907名が参加している。

防災関係の事業は、昨年度に引き続き、避難誘導灯、海抜表示板の設置、避難路整備や自主防災組織への資機材貸与等がおこなわれている。

次に阿尾地区の避難路津波避難目標地点等について現地を視察した。阿尾地区の現況については、道路が狭いため、地震発生時の家屋倒壊により避難路が絶たれる可能性や、避難目標地点が整備されていない等の問題があり、行政として住民の命を守るための方策を早急に検討、実施すべきと考える。

議会費を削減 行財政改革特別委員会

委員会は、議員定数等について協議してきたが、12月1日に開催した委員会で、視点を換え、議会費全体の中で削減できることは無いか検討した。

その結果、平成18年度から、費用弁償1200円については、全額を廃止。議長交際費は10万円を減額する。

また、請願の審査等のため、出席要求する参考人などのための費用弁償は、予算化して残すことを決めた。

食糧費では、議会が本会議に出席要求する代表監査委員、選挙管理委員長や農業委員会長などのための予算は、少額残す。今後は、議員報酬や議員定数についても、できるだけ早い時期に方向性を示していきたい。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新年を迎えられたことと、広報委員一同心よりお喜び申し上げます。

今年は戌年です。犬も歩けば棒に当たると言いますが、あわてて歩いて転ばぬように、足元を十分見ながら一步一步前進して参りたいと思います。

今年もご愛読よろしく願い申し上げます。

清水 正巳

第35回議長杯争奪 少年野球大会開催

- 10月23日 若もの広場にて -



優勝 内原少年野球クラブ
2位 比井マリン少年野球クラブ
3位 志賀少年野球クラブ

ヒットか!?